

日本海学の世紀5「交流の海」

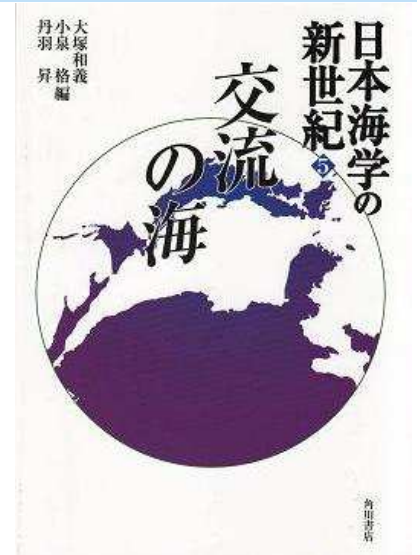
編著：大塚和義・小泉格・丹羽昇編

企画：富山県国際・日本海政策課／日本海学推進機構

発行所：角川書店

発行年月：2005 年3月

価格：1365 円



はじめに			
1	はしがき	小泉格 丹羽昇	北海道大学名誉教授 富山大学副学長
2004 年度日本海学シンポジウム 環日本海地域・持続可能社会への展望			
2	基調講演 地球は、普遍か	松井孝典	東京大学大学院 新領域創成科学研究科教授
3	パネルディスカッション 環日本海地域の持続可能性への展望	コーディネータ ー 今村弘子	富山大学極東地域研究センター教授
		木内孝	NPO法人フューチャー500 理事長
		周牧之	東京経済大学助教授
		鈴木克徳	国際連合大学高等研究所上席研究員
		原 宏	東京農工大学教授
対談			
4	環日本海の可能性	舟橋洋一 中井徳太郎	朝日新聞コラムニスト 東京大学医科学研究所教授
Ⅰ. 海を越えた人・文物			
5	海流の脈動サイクルと人の移動	小泉格	北海道大学名誉教授
6	詩歌の海—日本海への眺望	芳賀徹	京都造形芸術大学学長
7	「神功皇后」論のためのノート	千田稔	国際日本文化研究センター教授
8	漂流生物から見た日本海沿岸	中西弘樹	長崎大学教授

9	ジャポニカ物語 —日本の生きもののルーツを考える	西口親雄	NHK文化センター仙台教室講師
10	エッセイ 日本海をつなぐ渡り鳥を見つめて	松木鴻諮	富山県鳥類生態研究会代表
11	緊急リポート 日本海における巨大エチゼンクラゲの大量出現 —環境をつなぐ日本海への警鐘	安田徹	元福井県栽培漁業センター所長
Ⅱ. 回廊としての日本海			
12	環日本海の旧石器時代と石器作りの広がり	安蒜政雄	明治大学文学部教授
13	環日本海における毛皮の生産と流通	大塚和義	国立民族学博物館教授
14	玄界灘を中心として漂着物から読み取る 沿岸諸国の生活とその変化	石井忠	古賀市立歴史資料館館長
15	日韓民族文化研究にむけて	朝倉敏夫	国立民族学博物館教授
16	エッセイ 日本海、わが心のプリズム	岡田和也	ロシア国営ラジオ局 ハバロフスク支局特派員
17	エッセイ 海女がつなぐ日韓の海 —海の森を漁る女たち	平野秀樹	農林水省林野庁研究普及課長
Ⅲ. 環日本海時代を支える物流交流圏構想			
18	日本海資源の道 —エネルギー問題から見た環日本海地域	森岡裕	富山大学経済学部教授
19	環日本海経済共同体形成への展望	金奉吉	富山大学経済学部教授
20	中国から見る環日本海地域経済協力	馬成三	静岡文化芸術大学教授
21	ロシアにおける日本文化の流行と 国際交流の新たな可能性	アンドレイ・ベ ロフ	福井県立大学教授
22	エッセイ 日本海北前のロマン回廊	犬島肇	日本海北前ロマン回廊構想 実行委員会事務局長
23	エッセイ 上海スーパーエクスプレスの日中物流戦略 —環日本海輸送回廊へのヒント	高木直人	(財)九州経済調査会調査研究部長
24	エッセイ 日本海をつなぐ港風景	陣内秀信	法政大学工学部教授
25	日本海学の提唱	富山県国際・日本海政策課	